

元気プラザだより



令和2年第8号

夏に多い子どもの病気

	咽頭結膜熱（プール熱）	手足口病	ヘルパンギーナ
特徴	小児、特に5才以下に多い 特にプールなどで感染する	乳幼児（特に4才以下）に好発する	乳幼児（特に4才以下）に好発する
潜伏期	3～5日 	2～7日 (平均3日)	2～7日 (平均3日)
主な症状	39℃前後の高熱、のどの痛み、結膜炎。 	頬の粘膜・手の平・足の裏などに小水疱を形成する。小水疱はカサブタを形成しないで治る	突然の発熱、咽頭痛、口蓋垂（のどちんこ）付近の小水疱疹 
感染経路	飛沫接触 	経口接触 飛沫	飛沫接触
予防策	・タオルは共用しない ・手洗いを徹底する ・患児が触れたものはアルコール等の消毒液で拭く ・プールの前後はシャワーをあびる。出た後は目をしっかり洗うがいをする	手洗いの励行 	

高熱や喉の痛みで水分が摂れない時、下痢の時は脱水症状に気をつけましょう！

- * 飛沫感染⇒せきやくしゃみ、唾液などでうつること
- * 経口感染⇒ふん便や尿とともに排出された病原体が付着したり混入した飲食物を摂取した場合、またはそれらが付着した手指や器物が口に触れうつること。

～乳がん・子宮がん・骨粗しょう症検診～

詳しくは8月中旬に全戸配付予定のチラシ(ピンク)をご覧ください

すまいる検診

9月27日(日)・9月28日(月)

会場:漁港会館

(今年度は“文化会館”での検診はありません)

◆託児あります♪ お子様(未就学児)のいる方は、ご利用ください。

〔乳がん〕

- ♥女性がかかるがんとしては**最も多い**がんです。
- ♥罹患率は30歳以降から増え始め、**40～50歳代**にピークを迎えます。
- ♥他のがんに比べて進行が遅いので**早期発見が重要**です。

〔子宮頸がん〕

- ♥発がん性ヒトパピローマウイルス(発がん性HPV)が関与。
- ♥発がん性HPVは**性交渉**によって感染するので、性交渉経験のある女性の約8割が一生涯に1度はHPVに感染。
- ♥最近では**20～30代の女性**に増加
- ♥1～2年に一度の定期的な検診によって、早期に発見できます。

〔骨粗しょう症〕

- ♥骨の強度を示す指標となる「骨量」が減ってしまい骨がもろくなる病気
- ♥特に女性は閉経を迎えると「エストロゲン」と言う女性ホルモンが急激に減少するため**50歳前後**に骨量が急激に減少し、骨粗しょう症を発症する人が**増えます**。
- ♥骨粗しょう症は、自覚症状に乏しく気づきにくいので**定期的な骨量の測定が重要**です

～お問合せ先～

古平町役場 保健福祉課 元気プラザ内
保健医療係 42-2182 (内線12・13)

